



12/19

村上父親支援シンポジウム

市民ふれあいセンター

▶自分の子育てに点数をつける質問に、悩むパネリストたち



父親の子育てについて考えるシンポジウムが、NPO法人 都岐沙羅パートナーズセンターの主催で開催されました。

始めにファザーリングジャパン顧問の小崎恭弘氏が講演。自身の子育ての経験や楽しみ方、父親支援の必要性や他自治体での取り組みなどを紹介しました。

パネルディスカッションでは、小崎氏とパネラーの市内のパパ3人が「父親になったと実感したとき」「仕事と子育ての両立の難しさ」などを討論し、参加した約50人と一緒に子育ての楽しさや苦労などを語り合いました。

12/20

持続的な経営の実践が評価されました

新潟ユニゾンプラザ

株式会社あおぞら農産（牧目）が、新潟県担い手育成総合支援協議会主催の「新潟県担い手経営発展推進大会」で、優良認定農業者の部、経営改善部門の「県農業会議会長賞」を受賞しました。

水稻と園芸による複合化、観光農園の取り組みによる6次産業化により経営の安定化と通年雇用を実現し、持続的な経営地域モデルとなっていることが評価されたものです。



▶株式会社あおぞら農産の増田嘉業代表

12/25
~28

充実した冬休みに

つどい場「あら、ほっ」

▶待ったなし、はっけい!



冬休み中の小学生に4日間、つどい場「あら、ほっ」を開放しました。連日40人ほどが訪れ、冬休みの宿題をしたり、輪投げやドッジボールなどを楽しんだりしました。

最終日には、元力士で地域おこし協力隊の臥牛山さんが登場。紙相撲や雪合戦で小学生とふれあいました。お昼は、小学生にも手伝ってもらい、臥牛山さん特製のちゃんこ鍋を、ずんどうで2杯分作ると、あまりのおいしさに3回もおかわりする子も。

つどい場「あら、ほっ」は、団体や友達グループでも利用できます。詳しくは、あらかわ地区まちづくり協議会ホームページをご覧ください。

1/5

市内の火災ゼロを目指して
教育情報センターほか

▶威風堂々たる行進（この時間帯だけ雪がやむ）



新春恒例の村上市消防出初式が行われました。始めに行われたのは、肴町のえびす坂交差点付近から教育情報センターまでの消防団による分列行進と車両パレード。女性消防団員で構成する広報指導分団「つくし隊」を先頭に、団員たちが威風堂々とした姿で行進しました。式典では、中山消防団長が「市内の火災ゼロを目指して活動し、住宅用火災警報器の設置を推進していきます」とあいさつしました。

1/2~3

新春初売りイベント
朝日みどりの里

▶大勢の人が押し寄せた福まき



▲特製海鮮丼

今年も新春初売りイベントが開催された朝日みどりの里。物産会館選りすぐりの商品が入った福袋や、正月限定の豪華特製海鮮丼などが販売され大勢の買い物客でにぎわいました。海鮮丼を食べた方は「エビがぷりぷりでおいしく、ネタも豊富で大満足です」と笑顔で話してくれました。訪れた地元の方やお正月の帰省客は、平成最後の朝日みどりの里の初売りを楽しみました。

1/13

地域で無病息災、五穀豊穡を祈念
里本庄

▶今年も集落の皆さんが健康で一年過ごせますように！



この時期の恒例行事「さいの神」。里本庄集落では、近年、わらがあまり集まらず、以前のように大きく作ることが難しくなっていました。そこで今回はカヤを使い、幅を持たせ、中央部分は例年使っている竹ではなく松を使用することで、以前の大きさに近い仕上がりとなりました。カヤは勢いよく燃え、参加者はその火であぶった餅やスルメを食べて、今年1年の無病息災と五穀豊穡を祈念しました。

1/8

願いを込めて団子ならし
山北にじいろ保育園

▶ミズキの枝に団子を飾る園児たち



地域の伝統行事「団子ならし」に挑戦したのは、きりん組（年長児）の12人。「風邪をひかないように（無病息災）」「園の畑で野菜がたくさん採れますように（五穀豊穡）」と願い、手でこねて丸めた色とりどりの団子を、「どこにつけようかな」「やった～、うまきさった～」など声をあげながら、ミズキの枝に飾りました。